



調剤室の電話番号変更のお知らせ

これまで2670が調剤室の電話番号として登録されていましたが、7月1日（金）から使用できません。調剤室に御用の方は、2669にご連絡下さい。

退院処方箋の病棟送付に関する電話連絡について

服用開始日が当日の退院処方箋は、入院患者の内服・外用薬処方箋のうち、最も優先的に調剤され、迅速に病棟に送付するよう努めています。薬剤の至急送付に関する電話連絡への対応により、調剤業務が遅延しますのでご配慮頂きますようお願い致します。なお、服用開始前日の13:00までにオーダーされた退院処方箋は、前日中に病棟に送付することとしておりますので、ご利用ください。

ワーファリン錠 5mg 包装変更のお知らせ

◎ワーファリン錠 5mg(一般名:ワルファリンカリウム)＜経口抗凝固剤＞

今まで、ワーファリン錠5mgはバラ包装のみの販売でしたが、2015年8月26日から、PTP包装が販売されました。これに伴い、当院の採用を在庫限りでバラ包装からPTP包装へ切り替えます。



従来のワーファリン 5mg 調剤例



今後のワーファリン 5mg 調剤例

効能・効果追加、用法・用量変更等のお知らせ

◎アバستن点滴静注用100mg、400mg(一般名:ペバシズマブ(遺伝子組換え)注射液)

＜抗悪性腫瘍剤 抗VEGFヒト化 モノクローナル抗体＞

【効能・効果】 進行又は再発の子宮頸がん

【用法・用量】 他の抗悪性腫瘍剤との併用において、1回15mg/kgを点滴静注、投与間隔は3週間以上。

◎サイラムザ点滴静注液100mg,150mg(一般名:ラムシルマブ(遺伝子組換え)注射液)

＜抗悪性腫瘍薬 ヒト型抗VEGFR-2 モノクローナル抗体＞

【効能・効果】 進行・再発の結腸・直腸がん・切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌＜※1＞

【用法・用量】 ＜進行再発の結腸・直腸がん＞イリノテカン塩酸塩水和物、レボホリナート及びフルオロウラシルとの併用において、2週間に1回、1回8mg/kgを60分かけて点滴静注。適宜減量。

＜※1＞ドセタキセルとの併用において、3週間に1回、1回10mg/kgを60分かけて点滴静注。適宜増減

◎セルセプトカプセル250、懸濁用散31.8%(一般名:ミコフェノール酸 モフェチルカプセル)＜免疫抑制剤＞

【効能・効果】 ループス腎炎

【用法・用量】 成人：1回250～1000mgを1日2回12時間毎に食後経口投与。適宜増減 1日3000mgを上限。

小児：1回150～600mg/m²を1日2回12時間毎に食後経口投与。適宜増減 1日2000mgを上限。

◎ヒュミラ皮下注40mg、シリンジ80ml(一般名:アダリムマブ)＜ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤＞

【効能・効果】 クロウン病

【用法・用量】 初回投与4週間後以降は、40mgを2週に1回、皮下注射。効果が減弱した場合には1回80mgに増量可能。

【用法・用量に関連する使用上の注意】

4週時点で臨床症状や内視鏡所見等による治療反応が得られない場合は、継続投与の必要性を検討し、他の治療法への切替を考慮。80mgへの増量は、40mgによる治療で効果は認められたものの、維持療法中に効果が減弱した患者に対して行うこと。80mgに増量しても効果が得られない場合、継続投与の必要性を慎重に再考。

◎フェブリク錠10mg、20mg、40mg(一般名:フェブキソスタット)＜高尿酸血症治療剤＞

【効能・効果】 がん化学療法に伴う高尿酸血症

【用法・用量】 1日1回60mg 経口投与

ハイカムチン注射用 1.1mg オーダー一時停止のお知らせ

抗悪性腫瘍薬「ハイカムチン注射用 1.1mg」の海外製造委託工場（イタリア）において GMP 上の問題と原薬の調達に係る問題が発生し、当該医薬品が入手できなくなる見込みのため 6 月 1 日付でオーダーを一時停止しました。今後の安定した供給再開の見込みについては、わかり次第随時、連絡します。

ザンタック注射液 50mg オーダー一時停止のお知らせ

H2 受容体拮抗薬「ザンタック注射液 50mg」の工場出荷時の品質試験において逸脱が認められ、当該医薬品が入手できなくなる見込みのため 6 月 27 日付でオーダーを一時停止しました。

今後の安定した供給再開の見込みについては、わかり次第随時、連絡します。

代替薬：ガスター注射液 20mg 2mL タガメット注射液 200mg

★「PMDAメディナビ」と「マイ医薬品集サービス」の活用について

医薬品・医療機器の安全性等に関する特に重要な情報が発出された際に、タイムリーにその情報を電子メールによりお知らせする「PMDAメディナビ」（医薬品医療機器情報配信サービス）及びその追加機能である「マイ医薬品集作成サービス」について紹介する。

★医療事故の再発・類似事例に係る注意喚起について

平成27年1月1日～平成27年6月30日の期間に、公益財団法人日本医療機能評価機構が収集した医療事故等の情報を分析した結果、再発が確認された事例を紹介する。

★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂（追加）したので内容を紹介します。

◎塩化ナトリウム・塩化カリウム・無水硫酸ナトリウム・マクロゴール4000・アスコルビン酸・L-アスコルビン酸ナトリウム（販売名：モビプレップ配合内用液）

【副作用】失神、意識消失：失神、意識消失を起こすことがあり、血圧低下を伴う症例も報告されている。観察を十分に行い、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。なお、自宅で服用させる場合は、「重要な基本的注意」の項を参照し、指導すること。
※失神・意識消失関連症例6例（うち死亡0例）（平成25年6月～平成28年2月）

◎ビルダグリプチン（販売名：エクア錠50mg）

◎ビルダグリプチン・メトホルミン塩酸塩（販売名：エクメット配合錠LD及び同配合錠HD）

◎シタグリプチンリン酸塩水和物

（販売名：グラクティブ錠12.5mg,25mg,50mg,100mg ジャヌビア錠12.5mg,25mg,50mg,100mg）

【副作用】類天疱瘡：類天疱瘡があらわれることがあるので、水疱、びらん等があらわれた場合には、皮膚科医と相談し、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。
※類天疱瘡関連症例11例（うち死亡0例）（平成25年4月～平成28年3月）

◎フェキソフェナジン塩酸塩・塩酸プソイドエフェドリン（販売名：ディレグラ配合錠）

【副作用】急性汎発性発疹性膿疱症：急性汎発性発疹性膿疱症があらわれることがあるので、観察を十分に行い、発熱、紅斑、多数の小膿疱等があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
※急性汎発性発疹性膿疱症1例（うち死亡0例）（平成25年4月～平成28年2月）

◎ペラミビル水和物（販売名：ラピアクタ点滴静注液バッグ300mg,150mg）

【重要な基本的注意】ショック、アナフィラキシーがあらわれることがあるので、投与中は救急処置の可能な状態で患者の状態を十分に観察すること。また、投与終了後もショック、アナフィラキシーがあらわれることがあるので、注意すること。

【副作用】ショック、アナフィラキシー：ショック、アナフィラキシー（血圧低下、顔面蒼白、冷汗、呼吸困難、蕁麻疹等）があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
※アナフィラキシー関連症例8例（うち死亡1例）（平成27年2月～平成28年1月）

◎①レボドパ（販売名：ドパゾール錠200mg, ドパストンカプセル250mg, 同散98.5%, 同静注25mg, 50mg）

◎②レボドパ・ベンセラジド塩酸塩（販売名：ネオドパゾール配合錠, マドパー配合錠, イーシー・ドパール配合錠）

◎③レボドパ・カルビドパ水和物（販売名：ネオドパストン配合錠L100, L250, メネシット配合錠100, 25）

◎④レボドパ・カルビドパ水和物・エンタカポン（販売名：スタレボ配合錠L50, L100）

【副作用】閉塞隅角緑内障：急激な眼圧上昇を伴う閉塞隅角緑内障を起こすことがあるので、霧視、眼痛、充血、頭痛、嘔気等が認められた場合には、投与を中止し、直ちに適切な処置を行うこと。
※失神、意識消失関連症例 ①③④0例（うち死亡0例）②2例（うち死亡0例）（平成25年4月～平成28年2月）

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<http://www.pmda.go.jp/>）又は厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/>）からも入手可能。

販売移管のお知らせ

- ◎アクブラ静注用10mg、100mg<抗悪性腫瘍薬>
 - ◎注射用フィルデシン1mg<抗悪性腫瘍薬>
- 塩野義製薬株式会社 → 日医工株式会社 (2016年7月1日)

販売中止のお知らせ

- ◎アイロミールエアゾール100 μ g<定量噴霧式気管支拡張剤>
 - ◎アレディア点滴静注用15,30mg(販売名:注射用パミドロン酸二ナトリウム)<骨吸収抑制剤>
 - ◎テルシガンエロゾル100 μ g(一般名:オキシトロピウム臭化物)<気管支収縮抑制剤>
 - ◎プロヘパール配合錠<肝臓加水分解物製剤>
 - ◎ベゲタミンA配合錠<精神神経用剤>
 - ◎ベゲタミンB配合錠<精神神経用剤>
- 販売中止のため、在庫限りでオーダー中止。

包装変更等のお知らせ

- ◎アルツディスポ関節注25mg(一般名:精製ヒアルロン酸ナトリウム関節内注射液)<関節機能改善剤>
シリンジ材質をガラス → プラスチックへ変更
- ◎テネリア錠20mg(一般名:テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物錠)<選択的DPP-4阻害剤>
錠剤識別コードを「TA117」 → 「テネリア20」カタカナ表記へ変更
- ◎テノゼット錠 300 mg(一般名:テノホビル ジソプロキシルフマル酸塩)<抗ウイルス化学療法剤>
「うすい青色」、「識別コード: GILEAD4331 300」 → 従来の「白色」、「識別コード: GSK300」へ変更
- ◎サーファクテン気管注入用 120mg 専用ディスポーザブル採液針P
ゴム栓への穿刺のしやすさ、採液時の液の取り込みやすさ向上のため形状変更。

	変更前	変更後
全長	76.8mm	63.0mm
針長さ	38.8mm	25.0mm
針外形	ϕ 3.3mm	ϕ 2.64mm

時間外に関するお願い

時間外は当直薬剤師1名で業務を行っています。22時から翌朝5時までは宿直時間帯となっていますので、緊急を要する処方箋以外の電話連絡は避けて頂くようお願いいたします。

☆Drug Safety Update No. 250 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名（薬品名）	主な改訂内容
レベチラセタム(イ-ケブ [®] ラ錠・ド [®] ライシロップ・点滴静注)	※重大な副作用：急性腎不全 …観察を十分に行い、異常が認められた場合、投与中止、適切な処置
ピモジド [®] (オーラップ [®] 錠)	※禁忌 …HIV [®] プロテアーゼ阻害剤、アゾール系抗真菌剤、テラ [®] レビル、クラリスロマイシン、エリスロマイシン、キノ [®] リスチン・ダルホ [®] リスチン、ア [®] レビ [®] タント、ホスア [®] レビ [®] タント、パ [®] ロキセチン、フルボ [®] キサミン、セルトラリン、エスタ [®] ロ [®] ラムを投与中の患者
アレト [®] ロン酸ナトリウム水和物(ホナ [®] 錠・経口ゼリー) ゾレト [®] ロン酸水和物(ゾ [®] マ点滴静注) パミト [®] ロン酸二ナトリウム水和物(アレ [®] ア点滴静注) ミト [®] ロン酸水和物(リカルボン [®] 錠) リセト [®] ロン酸ナトリウム水和物(アクト [®] 初錠・ヘ [®] ネット錠)	※重要な基本的注意 …ヒ [®] ススネット系薬剤を使用している患者において、外耳道骨壊死が発現。 耳の感染や外傷に関連して発現した症例も認められることから、外耳炎、耳漏、耳痛等の症状が続く場合には、耳鼻咽喉科を受診するよう指導 ※重大な副作用：外耳道骨壊死 …観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与中止、適切な処置
アスナ [®] レビル(ス [®] バ [®] ラカ Cap) シマ [®] レビルナトリウム(ソ [®] リアート [®] Cap) テラ [®] レビル(テラ [®] ビ [®] ック錠) ハ [®] ニ [®] レビル(ハ [®] ニ [®] ハップ Cap) オムビ [®] タス [®] ビル水和物・パ [®] リタブ [®] レビル水和物・リト [®] ナ [®] ビル(ウ [®] イキ [®] ラックス配合錠) ソホス [®] ア [®] ビル(ソ [®] ハ [®] ル [®] テイ [®] 錠) ダ [®] クラ [®] タス [®] ビル塩酸塩(ダ [®] ク [®] ル [®] イン [®] ザ [®] 錠) レジ [®] ハ [®] ス [®] ビルアセトン付加物・ソホス [®] ア [®] ビル(ハ [®] ホ [®] ニ [®] 配合錠)	※慎重投与：B型肝炎ウイルス感染の患者又は既往感染患者 ※重要な基本的注意 …B型肝炎ウイルス感染の患者又は既往感染者（HBs 抗原陰性、かつ HBc 抗体又は HBs 抗体陽性）において、C型肝炎直接型抗ウイルス薬を投与開始後、C型肝炎ウイルス量が低下する一方B型肝炎ウイルスの再活性化が報告。本剤投与に先立って、B型肝炎ウイルス感染の有無を確認。B型肝炎ウイルス感染の患者又は既往感染者に投与する場合は、HBV DNA 量等のB型肝炎ウイルスマーカーのモニタリングを行うなど、B型肝炎ウイルスの再活性化の徴候や症状の発現に注意

※DSU について：最重要、重要な情報を掲載しています。その他詳細情報については、医薬品・医療機器情報提供ホームページ (<http://www.pmda.go.jp/>) で確認可能